

コード		9934	事務事業名称	水質管理事業			所属名	維持管理課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	20,627	21,813	17,939	22,929	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			定期及び臨時の水質検査費 15,799千円	○共同水質検査業務委託 12,616千円	○共同水質検査業務委託 12,263千円	○共同水質検査業務委託 14,672千円	
	人件費(B)			千円	24,358.7	1,843.5	1,956	
トータルコスト(A)+(B)			千円	44,985.7	23,656.5	19,895	24,885	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	原水から給水段階に至るまでの水質管理をすることは、安心・快適な給水の確保に結びつく。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	常に、安心・快適な給水を確保するには、水質管理を継続していかなければならない。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	安心・快適な給水を確保するのは、水道水を供給する者の責務であり、民営化することはできない。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の対象及び意図で、安心・快適な給水を確保する目的に結びつく。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	17年度に、北千葉広域水道企業団及び水道法で定める水質検査の登録検査機関へ水質検査を全て委託した。このため、水質検査に係わる職員の人件費や検査機器の取得に係わる経費の削減等はすでに達成できているので、これ以上の有効性や効率性を求めることはできない。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1			実施主体 (所管部署)	
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		2			実施主体 (所管部署)	
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない								

コード	9934	事務事業名称	水質管理事業				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			現状の内容で継続することで, 安心・快適な供給が確保できる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状の手段で, 安心・快適な供給ができるよう維持する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
健康志向の高まりに伴い、 より安全で良質な水道水を求められるようになってきた。	

所属長コメント	策定した水質検査計画に基づいて水質検査を実施し, 安全な水道水の供給ができた。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり， 現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	